

三六災害伝承座談会

～災害を体験された方々を囲んで～

【主催】 駒ヶ根市/天竜川上流河川事務所
【協力】 駒ヶ根市 市場割 原垣外の皆さま
問い合わせ先：倉田実夫（電話 83-7870）



今年は、三六災害の大惨事から50年の節目を迎えます。近年は、防災施設の整備も進み、災害を経験している方も少なくなってきました。そのため、災害に対する危機意識が薄れ、地域の防災力の低下が心配されています。

この50年を契機に、いざという時の避難行動や地域での助け合いなど、三六災害当時の体験を地域で共有することを目的として、大鹿村、中川村四徳地区、駒ヶ根市中沢地区で災害を経験された方々から体験談をお聞きする座談会を計画いたしました。ぜひご参加ください。

● 日時 **3月27日（日）** 午後1時30分～3時30分

● 場所 **駒ヶ根市 市場割 原垣外集会所**

● 話をしていただく方

・ 信州大学名誉教授 北澤秋司先生

〈プロフィール〉 長野県内の公立学校で教師をつとめた後、信州大学農学部にて研究者として従事。専門は治山学で、特に砂防・地すべりの防災に造詣が深い。農学博士。

・ 災害を体験された方々

座談会の流れ

1. 三六災害の当時の様子を、スライドやパネルを見て振り返ります。
2. 北澤先生から、災害の特徴についてお話をうかがいます。
3. 災害を体験された皆さまから、災害の体験談をお聞きします。
4. 参加の皆さま方で、意見交換します。



発表のイメージ



座談会のイメージ

参加申し込み欄

氏 名	住 所